



生きもの調査

令和3年11月5日（金）揖斐川町立谷汲小学校3年生17名を対象に「四ツ谷沼水辺公園」で生きもの調査を実施しました。

① ほ かく 捕 獲

タモ網とかご網を使って、たくさんの生きものを捕まえました。

どんな生きものが
見つかったかな？



講師の方から、えさの配合やかごを置く場所、タモ網の使い方についてレクチャーを受けた後、水路の横から生き物をつまえました。



② どう てい 同 定

捕まえた生きものを分類し、数を記録しました。

つかまえた生きものは・・・

生き物の種類を調べることを「同定」と言います

- ・ヌマムツ（絶滅が心配される）
 - ・モツゴ
 - ・タモロコ
 - ・メダカ（絶滅が心配される）
 - ・アメリカザリガニ（外来生物）
 - ・スジエビ
 - ・シオカラトンボのヤゴ
 - ・タイリクバラタナゴ（外来生物）
- など8種 267匹



野生生物保護推進員の方からそれぞれの生き物の特徴や生息環境などを教わり、水温、水質と生き物との関係や揖斐郡に多く生息している生き物についてくわしく知りました。



児童から「どうして絶滅危惧種になってしまったのか」「どうして外来生物が日本に来たのか」などの質問があり、生き物、環境への関心を深めることができました。